

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

4つの裏技 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

3減運動 プレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

No. 7 令和5年10月26日

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子



人を大切にするためには

熊谷市立別府小学校長 安藤 咲恵

秋が深まり、肌寒い日が多くなってきました。季節は少しずつ冬に向かっていと感じます。

令和5年度の後期が始まり、別府小学校をよりよくするために、一人一人が新たな気持ちで生活をしていることが感じられます。

さて、今年度の学校だより NO.3 で、「みんながって みんないい 一人一人を大切に」という話をしました。では、人を大切にするためには、どうしたらよいのでしょうか。それには、心の持ち方が大事です。

『雑宝蔵経』(ぞうほうぞうきょう)という経典の中に「無財の七施」(むざいのしちせ)という教えがあります。これは、「私は、私以外の困っている人たちに何かを恵んでやりたいと思っても貧乏で自分自身、人に施しをする何物も持ち合わせていない。また、私の家にも施しをしてやるような物は何もない。と思っている人でも、その人の心の持ち方によって人間には七つの施しができる」という教えです。

七つの施しとは、

- 一 眼施(がんせ)……暖かい、優しい眼差しで人に接すること
- 二 和顔施(わがんせ)……和やかな、微笑みのある顔つきで接すること
- 三 言辞施(ごんじせ)……思いやりのこもった、暖かい言葉をかけてあげること。
- 四 身施(しんせ)……礼儀正しい振る舞いや、身をもって奉仕を行うこと。
- 五 心施(しんせ)……心のこもった、思いやりの心で接すること。
- 六 床座施(しょうざせ)……寝床や座席を提供すること。
- 七 房舎施(ぼうしゃせ)……気持ちよいもてなしをしてあげること。

この中で「和顔施」、「言辞施」の2つを取り上げます。一つ目は、「和顔施」です。これは、「人の気持ちは顔に表れます。人は、やさしい笑顔、和やかな笑顔を見ると幸せな気持ちになります。そして周りにも笑顔が広がります。ですから、人に接するには、やさしい笑顔で向かいましょう。」ということです。顔は感情が表れるところです。気分がいいときにやさしい顔をするのは簡単ですが、腹の立っているときに穏やかな顔をすることや落ち込んでいるときに明るい表情をすることは大変なことです。つらい気持ちを抑えて、穏やかな笑顔で心掛けると、相手の心も落ち着いて、お互いの気持ちを伝えることができるでしょう。

二つ目は、「言辞施」です。これは、「世の中に困っている人や苦しんでいる人がいたら、進んでやさしい言葉をかけてやりなさい。そうすれば、相手は勇気づけられ、生きる希望も抱くようになるでしょう。」ということです。「おはようございます」「ありがとうございます」「すみません」など、当たり前ですが、心がこもっていれば相手に伝わります。柔らかい言葉を使い、粗暴な言葉を使わないことです。まず一言から、嫌な言葉、不快な言葉を避け、優しく温かい言葉を発するように心がけたいものです。

今後も教職員一同、子どもたちが実りある学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様にはご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

150周年記念運動会を盛大に開催することができました。

9月30日(土)に、150周年記念運動会を開催いたしました。開会行事を行う直前に雨が降ってきてしまい、急遽応援席で開会行事を行いました。小林哲也市長様、野原晃教育長様をはじめ、多くの来賓の方をお招きすることができました。開会行事では、記念式典の内容を含めて行いました。熊谷市の無形文化財にもなっている「東別府祭囃子」の演奏や埼玉パナソニックワイルドナイツの選手とアルカス熊谷の選手のデモンストレーションもありました。記念式典の締めとして、全校児童によるバルーンリリースも行いました。記念式典と合わせた運動会は、今年限りとなります。子どもたちの記憶に残る大切な運動会になりました。保護者の皆様、地域の皆様から、多大なるご協力を賜り、ありがとうございました。

※ホームページの各学年の部屋に、子どもたちの活躍を掲載しています。ご覧ください。



彩の国教育の日

